

行政評価シート(事後評価)

コード 7-4-1	事務事業名 塵芥収集事業	所管部課 生活環境部ごみ減量推進課
--------------	-----------------	----------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	家庭から分別されて排出されたごみを収集し、焼却等の処理をするために処理施設に搬入する。	<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input checked="" type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等	
	市内を4地区に分け、ごみ収集を行う。ごみの収集は集積所にて行っていたが、平成19年9月からは戸別収集(各建物ごとに敷地内で収集すること)を行い、平成19年10月からは分別の変更(不燃ごみからプラスチック容器包装類と金属類を資源として収集)も行っている。 また、平成20年1月からは家庭ごみの有料化を行っている。 (9月2日まで) 可燃ごみは週2回収集、不燃・有害ごみは週1回収集、粗大ごみは毎週月～金曜日に収集 (9月3日から) 可燃ごみは週2回収集、不燃・有害ごみは2週に1回収集、粗大ごみは毎週月～金曜日に収集	
事業開始時期	合併前から 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
事業費(A)		364,414	367,668	443,414	525,270
財源: 国庫支出金・都支出金		70,454	69,658	88,876	123,400
財源: 地方債	千円				
財源: 内: その他 (手数料)		48,526	48,949	213,521	340,851
財源: 内: 一般財源		245,434	249,061	141,017	61,019
所要人員(B)	人	11.00	6.00	3.00	0.00
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	90,035	48,966	24,483	0
臨時職員等賃金(C')	千円				
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	454,449	416,634	467,897	525,270
単位当たりコスト (E)=(D)/(収集量)	千円	12	11	14	#DIV/0!

活動等指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	
可燃ごみの収集日数	実績値 日	205	206	207		
不燃・有害ごみの収集日数	実績値 日	104	101	78		
(指標の説明・数値変化の理由 など)						
成果指標	単位	17年度	18年度	19年度	20年度	
一次 収集量	目標値	トン	34,347	33,948	35,162	34,963
	実績値	トン	37,653	37,530	33,334	
二次 一人当たりの収集量	目標値	キログラム	179.6	179.2	185.2	181.1
	実績値	キログラム	196.8	198.2	175.5	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 一次・二次成果とも可燃・不燃・有害・粗大ごみの収集量を掲載している。一人当たりの収集量は、年度末人口から算出した。						

市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	新たな3事業(戸別収集・プラスチック容器包装類の分別収集・家庭ごみの有料化)を実施するにあたり、廃棄物減量等推進審議会等で議論を行い、東京都25市の調査や近隣市の視察を実施し、十分に制度を検討したうえで実施した。また、市民説明会での意見も参考にした。平成20年度はさらに市民アンケートを実施し、制度を検証を行う。	
都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	平成19年度末現在、多摩地域26市では、戸別収集を18市、家庭ごみ有料化を16市で実施している。平成19年度からは市内全域での祝日収集も開始し、サービス向上を図っている。
代替・類似サービスの有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法律により、自治体の事務と定められている。

コード 7-4-1	事務事業名 塵芥収集事業	所管部課 生活環境部ごみ減量推進課
--------------	-----------------	----------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>平成19年9月からの収集体制の変更にあわせ、収集委託の1台あたり単価を見直し、経費削減を図った。</p> <p>手数料については、廃棄物減量等推進審議会や使用料等審議会で審議され、適正な受益者負担として答申を受けた。また、100回の市民説明会、160回の出前説明会を実施したことで、十分な制度の周知が図られた。</p> <p>3事業の実施後、ごみの減量と資源化率向上に大きな成果が得られた。平成20年度には本事業を完全委託化する。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	3			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>一人当たりのごみの収集量も減ってきており、事業見直しの効果が現れている。</p> <p>平成20年度には塵芥収集事業を完全委託化し、経費節減の努力も見受けられる。今後も、適正な人員配置によるコスト管理に努められたい。</p> <p>ごみの分別については、市民の大方の理解が得られているということだが、更に多くの市民の理解が得られるよう努力する必要がある。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	3			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	3			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>二次評価記載のとおり、事業見直しの効果が現れている。引き続きコスト管理に留意しつつ、市民のごみ発生抑制の効果のある事業として進められたい。</p>